

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 17 日 (2014.7.17)

【公開番号】特開 2012-249196 (P2012-249196A)

【公開日】平成 24 年 12 月 13 日 (2012.12.13)

【年通号数】公開・登録公報 2012-053

【出願番号】特願 2011-120992 (P2011-120992)

【国際特許分類】

H 0 4 Q 3/42 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 Q 3/42 1 0 4

H 0 4 M 11/00 3 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 30 日 (2014.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回線から呼出信号を受信する受信手段と、  
 前記呼出信号の発生が終了したか否かを判定する判定手段と、  
 第 1 インピーダンスを有する第 1 の捕捉手段によって回線を捕捉した後、前記判定手段によって前記呼出信号の発生が終了したと判定されると、前記第 1 インピーダンスよりも低い第 2 インピーダンスを有する第 2 の捕捉手段によって回線を捕捉させる制御手段とを備えることを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

前記第 1 の捕捉手段によって回線を捕捉してからの経過時間を計時する計時手段と、  
 前記第 1 の捕捉手段によって捕捉した回線の回線電流又は回線電圧を検知する検知手段と  
 をさらに備え、

前記判定手段は、

前記検知手段によって検知された前記回線電流又は前記回線電圧が第 1 閾値以下となる状態が一定時間を超えると、前記呼出信号の発生が終了したと判定することを特徴とする請求項 1 に記載の通信装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、

前記判定手段によって一定時間内に前記呼出信号の発生が終了しなかったと判定されると、前記第 1 の捕捉手段によって捕捉している回線を開放させることを特徴とする請求項 2 に記載の通信装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、

前記検知手段によって前記第 1 閾値よりも高い第 2 閾値以上の前記回線電流又は前記回線電圧を検知すると、前記第 1 の捕捉手段によって捕捉している回線を開放させることを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の通信装置。

【請求項 5】

前記捕捉手段は、

前回の回線捕捉において前記判定手段によって一定時間内に前記呼出信号の発生が終了しなかったと判定された場合に、前記第 1 インピーダンスより低く、前記第 2 インピーダンスより高い第 3 インピーダンスを有する第 3 の捕捉手段によって回線を捕捉することを特徴とする請求項 3 に記載の通信装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前回の回線捕捉において前記検知手段によって前記第 1 閾値よりも高い第 2 閾値以上の前記回線電流又は前記回線電圧を検知した場合に、前記呼出信号の受信に応じて、前記第 1 インピーダンスよりも高い第 4 インピーダンスを有する第 4 の捕捉手段によって回線を捕捉させることを特徴とする請求項 4 に記載の通信装置。

【請求項 7】

前記通信装置は、ファクシミリ装置であり、

前記制御手段は、

前記ファクシミリ装置が V o I P アダプタに接続されている場合に、前記判定手段によって前記呼出信号の発生が終了したと判定された場合であっても、前記第 1 インピーダンスを有する前記第 1 の捕捉手段の使用を維持することを特徴とする請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の通信装置。

【請求項 8】

回線から呼出信号を受信する受信ステップと、

前記呼出信号の発生が終了したか否かを判定する判定ステップと、

第 1 インピーダンスを有する第 1 の捕捉手段によって回線を捕捉した後、前記判定ステップで前記呼出信号の発生が終了したと判定されると、前記第 1 インピーダンスよりも低い第 2 インピーダンスを有する第 2 の捕捉手段によって回線を捕捉させる制御ステップとを実行することを特徴とする通信装置の制御方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の通信装置の制御方法における各ステップをコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、通信装置として実現できる。通信装置は、回線から呼出信号を受信する受信手段と、前記呼出信号の発生が終了したか否かを判定する判定手段と、第 1 インピーダンスを有する第 1 の捕捉手段によって回線を捕捉した後、前記判定手段によって前記呼出信号の発生が終了したと判定されると、前記第 1 インピーダンスよりも低い第 2 インピーダンスを有する第 2 の捕捉手段によって回線を捕捉させる制御手段とを備えることを特徴とする。